

システム情報工学研究科特定課題研究報告書概要

年 度	平成 23 年度	学 位 名		修士(ビジネス)
専 攻	経営・政策科学	専攻	著者氏名	清水佑樹
指導教員氏名 大久保正勝				
報告書題目				
日本経済の成熟と停滞に関する実証研究 (中小企業における高齢者雇用に関する調査と分析)				
報告書概要				
<p>本章では労働需要側である企業の視点と労働供給側の高齢者の視点の両方から、中小企業が高齢者雇用の場となる理由を分析した。労働供給側の分析では、慶應義塾家計パネル調査の個票データを用い、就業確率関数をプロビット分析によって推定した。これにより、高齢者を継続的に雇用する企業と高齢者を新規に採用する企業間にどのような違いがあるのかということと、大企業と中小企業の間で雇用されている高齢者の就業決定の要因にどのような違いがあるのかを明らかにした。</p> <p>労働需要側の分析では、実際の中小企業経営者に対するヒアリング調査を実施し、中小企業経営者に対して実際の中小企業の現場における状況や、中小企業経営者が高齢者雇用についてどう考えているのかなどについてインタビューを行った。そして、計量分析の結果を踏まえ、それが現場の実態と整合的かを調べるため、それぞれの結果を比較、検討した。これらによって、大企業に対する中小企業の高齢者雇用における強みを明らかにし、今後の中小企業発展についても提言を行った。</p> <p>計量分析の結果、中小企業における高齢者雇用が、決して教育程度の低い高齢者や金銭的に余裕の少ない高齢者の受け皿という、後ろ向きな理由によるものではないということが示唆された。逆に、ヒアリング調査の事例からは、やりがいの提供としての雇用であったり、企業の戦力としての雇用であったりと、前向きな理由で高齢者雇用が行われていることがわかった。こうした前向きな高齢者雇用を進め、優秀な人材を確保することが、成熟経済における中小企業の独自性・成長性を高めると考えられる。</p>				
審査日	平成 24 年 1 月 25 日			
審査員	(大学名 職名)	(学位)	(氏名)	
主査	筑波大学 准教授	Ph.D. in Management Science	倉田 久	
副査	筑波大学 准教授	博士(経済学)	大久保 正勝	
副査	筑波大学 准教授	Ph.D. in Economics	永易 淳	